

論文審査の結果の要旨

氏名：進士 多佳子

博士の専攻分野の名称：博士（工学）

論文題名：ライフヒストリ作成支援システムに関する研究

審査委員：（主査） 教授 古市昌一

（副査） 教授 中村喜宏

教授 内田康之

教授 柄窪孝也

本研究は、家族間またはインタビューとインタビューの間の協調により、ライフヒストリの作成を支援するシステムに関するものである。従来は、例えば家族の間では記録されることなく「死」という不可避な原因により失われてしまっていた貴重な情報が多数あった。ある時代には普通のことでも、時代が移れば特殊で価値が生じる情報となる。家族間での記録に限らず、貴重な情報は記録されるよりも失われることの方が多い。本研究で提案したライフヒストリ作成システムの存在によって、家族間やインタビューとインタビュー間の協調で「話を聞いて記録し、それを伝達する」という口承の方法による情報の記録が容易となるとともに、従来は記録されずに失われた情報が記録されることによって、価値が増大することが期待される。

本システムは、PC またはタブレットやスマホ上で動作し、家族やインタビューが操作してインタビューは主として閲覧し、対話をもとにライフヒストリーを記録・表示・管理する機能を備えたものである。画面上に表示されるのはトピックカードで、エピソード等の入力画面と閲覧画面を兼ねる。例えば、孫が聞き手、祖母が語り手の場合は、同じ場所にいる場合も、遠隔地にいる場合も、まずお互いにアプリケーションを立ち上げる。孫がトピックカードの画面を開き、「標準トピック表」と名付けた質問表にもとづいて問いかけを行い記録する。家族というリラックスをした状況のため、祖母は自由な想起が次々と湧き上がり、枝葉となったエピソードがゆっくりと語られ、孫はそれぞれをテキスト入力する。日常いつでも簡単にアクセスでき、トピックカードの枚数が増えるにつれて家族の歴史が徐々に姿を現し、この一連の作業がチェックミハイによるフローな状態を導くため、家族間における協調作業として継続的に記録が行われることが期待される。

本システムの有効性を評価するため、高齢者 3 名に対して実験を実施し、1 人につき約 2 時間のセッションで 200 以上のシーンの記録が可能であること等が示され、従来の手法と比べて効率化できたことが確認された。また、別の実験協力者は約 1 年半家族間の協調により本システムを用いたライフヒストリーの記録が継続されており、システムの効率性と継続的な使用の可能性が確認された。

本論文は、全 7 章で構成されている。

第 1 章では研究の背景および目的が述べられており、情報伝達に対する社会的観点での問題意識、課題を解決するシステムのアウトラインと目標を述べられている。

第 2 章では関連研究について述べられており、ライフヒストリーを記録する意味に関するもの、ライフヒストリーを記録するシステムに関連する事項、世代相互の関心調査等について述べられ、これらを通して本研究の学術的な位置づけを明らかにしている。

第 3 章では、本研究で議論の対象とする対象世代について、人口推移と世代特性との可視化を行い、本研究で開発したライフヒストリサポートシステムの幅広い世代のユーザから、プライオリティ・ターゲット、すなわち記録することが可能な残された年月が比較的少ない層を特定している。

第 4 章では、想定したユーザ層を対象としたアンケートに基づく予備調査の結果が述べられ、本システムの社会的な需要に対する適性が検証されている。

第5章では、本研究で試作したライフヒストリサポートシステムの全体構成が述べられ、第6章では、プロトタイプを用いたインタビュー実験について述べられ、対話の計量方法についての説明の後、インタビュー3名が語ったエピソードの計量を経て、本提案システムの有用性に関する評価結果が述べられている。

第7章では本研究によって得られた成果を結論としてまとめられるとともに、今後社会に適用された後に期待される成果を含めて、今後の課題を考察されている。

本研究によって、これまで記録されることなく失われてしまっていた貴重な情報が、本システムにより、インタビューとインタビューの協調作業により効率良く実施し記録することが可能となることと、継続的に実施されることが確認された。今後は、更に多くの家族が本システムを用いて家族間の協調作業により様々なライフヒストリの記録を可能とするべく、可視化機能の拡張、プライバシーやセキュリティ機能の高度化等を実現し、システムの完成度を高めることが今後の課題と述べられている。

この成果は、生産工学、特に数理情報工学に寄与するものと評価できる。

よって本論文は、博士（工学）の学位を授与されるに値するものと認められる。

以 上

令 和 5年 3月 2日